

行政評価結果について

(新二本松市市政改革推進行動計画に基づく中間評価)



総務部人事行政課

平成31年3月

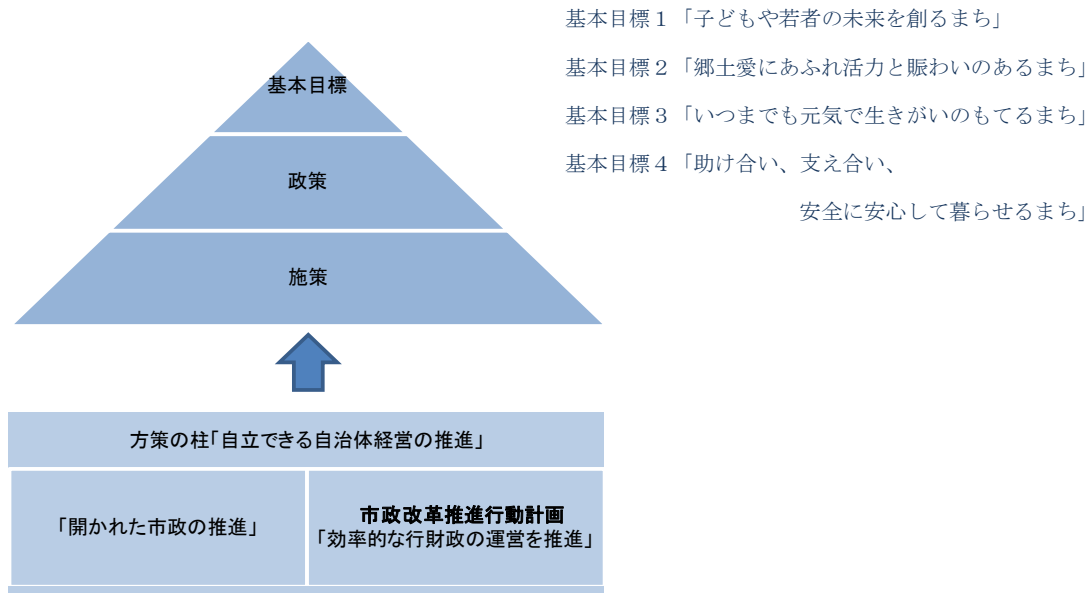
【はじめに】

行政評価は、平成28年度に策定した新二本松市市政改革推進行動計画の改革項目であり、同計画の重点項目である、「成果重視の経営資源の仕組みの整備」及び「限られた経営資源の効率的・効果的な活用」を推進するための、具体的な改革項目であり、職員の意識改革、行政の効率化、市民満足度の向上を目標に実施するものです。

【新二本松市市政改革推進行動計画】

新二本松市市政改革推進行動計画は、平成28年度に新二本松市総合計画「二本松を元気に！新5ヵ年プラン」の方策の柱である「自立できる自治体経営の推進」を目指し、限られた経営資源の中で施策効果を最大限に発揮することができる効率的な行財政の運営を推進するため平成32年度までに取り組む具体的な改革項目の内容や目標を、工程を明らかにするものです。

〔新二本松市総合計画の体系図〕



【新二本松市総合計画】

市では平成28年度に新二本松市総合計画「二本松を元気に！新5ヵ年プラン」を策定し、「子育て支援や定住支援による人口減少対策」「産業・観光の振興による地域の均衡ある発展」「生涯スポーツと健康づくりの推進による健康寿命の延伸」の3つを最重点項目として取り組んでいます。

【行政評価について】

行政評価は、事務事業所管課が自ら、事務事業の目標と見込まれる成果（PLAN）、評価対象年度の取組内容（DO）について、進捗状況、費用対効果等により所管課自らが評価し（CHECK）、評価結果に基づき必要な見直しを加え、今後の事業の方向性（ACTION）を定め、PDCAサイクルの構築を行うことができます。

(1) 実施年度

新二本松市総合計画（平成28年度から平成32年度）の期間中、中間年度に1回及び最終年度に1回実施します。

今回は、中間年度である平成30年度に平成28年度及び平成29年の事業結果に基づく評価を実施しました。

(2) 対象事業について

新二本松市総合計画から115の事務事業を抽出し実施しました。

(3) 評価の主な視点

- ① 評価年度の取組内容
- ② 目標等に対する実績と進捗状況
- ③ コスト分析
- ④ 課題や改善策
- ⑤ 今後の方向性

※本評価は、平成28年度及び平成29年度に実施した事業結果に基づき評価を行っており、事業進捗がないもの等については「評価結果なし」としている事務事業もあります。

【評価結果】

各事務事業所管で行った評価結果について、新二本松市総合計画の基本目標及び政策等の単位でとりまとめを行った結果は下記のとおりです。

<施策別評価事業数>

基本目標1 子どもや若者の未来を創るまち

- 1 子どもを産み育てやすいまちをつくります
 - ・妊娠・出産、母子の健康づくりの支援（6件）
 - ・子育て家庭の負担軽減（4件）
 - ・働きながら子育てできる環境の整備（4件）
- 2 学校と家庭、地域が連携して子どもの教育を推進します
 - ・学校教育の充実
 - ・学校と家庭、地域が連携した教育の推進
 - ・学校教育環境の整備充実
- 3 若者の定住を促進します
 - ・若者の生活基盤の確保（4件）
 - ・多様な就業の場の確保と若者のチャレンジ支援（3件）
 - ・出会いと交流の促進
- 4 居住環境を整備し暮らしやすいまちをつくります
 - ・良好な市街地の形成（7件）
 - ・道路ネットワークの整備（10件）
 - ・多世代が集う憩いの場づくり

基本目標2 郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち

- 1 歴史と文化を活かし交流人口を増やします
 - ・おもてなし観光の推進（6件）
 - ・観光資源の発掘活用、整備（4件）
 - ・文化財の保護・活用と文化芸術活動の推進
- 2 商工業の振興で賑わいのあるまちをつくります
 - ・中心市街地と地域商業の活性化（4件）
 - ・地域産業と物産の振興（1件）
 - ・多様な就業の場の確保
- 3 個性あふれる地域農業を形成します
 - ・農業担い手の育成と生産基盤の整備（7件）
 - ・ブランド化の推進と販路拡大（1件）
- 4 特性を活かした地域づくりを進めます
 - ・個性あふれる地域づくりの推進（6件）
 - ・地域自治活動の推進（4件）

基本目標3 いつまでも元気で生きがいのもてるまち

- 1 元気・健康で生涯スポーツの盛んなまちをつくります
 - ・生活習慣病予防と健康寿命の延伸（6件）
 - ・生涯スポーツの振興（1件）
- 2 生涯学習を推進し、生きがいのあるまちをつくります
 - ・生涯学習機会の提供
 - ・生涯学習環境の整備

基本目標4 助け合い、支え合い、安全に安心して暮らせるまち

- 1 ふれあいのあるやさしい福祉社会と医療体制をつくります
 - ・高齢者や障がい者への福祉サービスの充実（6件）
 - ・医療の充実（1件）
 - ・社会保障制度の充実（3件）
- 2 市民の生命と財産を守ります
 - ・防災対策の推進（5件）
 - ・暮らしの安全対策の充実
 - ・放射線対策の推進（6件）
- 3 自然と共生し環境に配慮したまちをつくります
 - ・水の安定供給（6件）
 - ・生活排水処理による水環境の保全（5件）
 - ・自然と森林環境の保全（2件）
 - ・資源の循環利用と環境負荷の低減（1件）

方策の柱

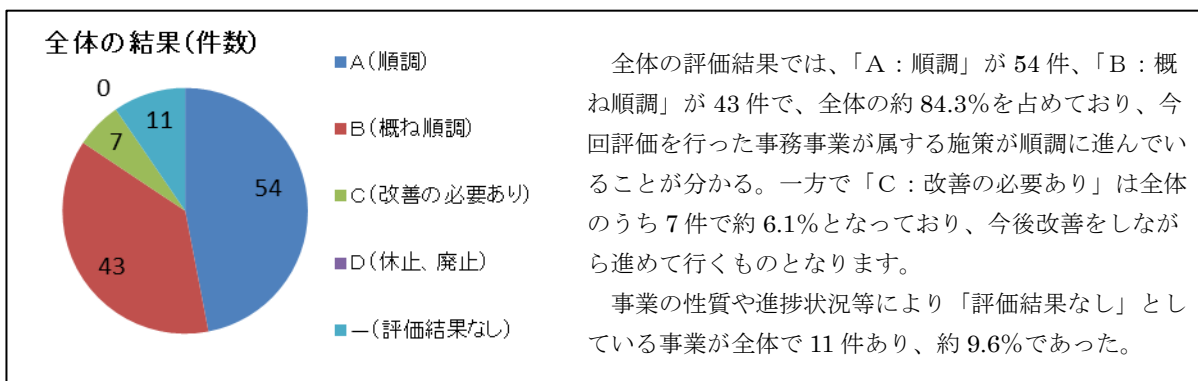
自立できる自治体経営の推進

- 1 開かれた市政を推進します
 - ・広報・広聴の充実
 - ・市政情報の提供・情報公開の推進
 - ・民間との連携、民間への移行
- 2 効率的な行財政の運営を推進します
 - ・効率的・効果的な行政運営（1件）
 - ・健全な財政運営の推進（1件）
 - ・市政改革の推進

< 施策別評価結果 >

A : 順調 B : 概ね順調 C : 改善の必要あり D : 休止、廃止 — : 評価結果なし

基本目標	政策	施策	所管課評価				
			A	B	C	D	—
1. 若者の未来を創るまち							
		(1) 子どもを産み育てやすいまちをつくります					
		① 妊娠、出産、母子の健康づくりの支援	2	4			
		② 子育て家庭の負担軽減	1	3			
		③ 働きながら子育てできる環境の整備		3	1		
		(3) 若者の定住を促進します					
		① 若者の生活基盤の確保	4				
		② 多様な就業の場の確保と若者のチャレンジ	2	1			
		(4) 居住環境を整備し暮らしやすいまちをつくります					
		① 良好な市街地の形成	2	3			2
		② 道路ネットワークの整備	9		1		
2. 郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち							
		(1) 歴史と文化を活かし交流人口を増やします					
		① おもてなし観光の推進	3	3			
		② 観光資源の発掘活用、整備		2	1		1
		(2) 商工業の振興で賑わいのあるまちをつくります					
		① 中心市街地と地域商業の活性化		2	1		1
		② 地域産業と物産の振興		1			
		(3) 個性あふれる地域農業を形成します					
		① 農業担い手の育成と生産基盤の整備	2	4			1
		② ブランド化の推進と販路拡大		1			
		(4) 特性を活かした地域づくりを進めます					
		① 個性あふれる地域づくりの推進	3	3			
		② 地域自治活動の推進	2				2
3. いつまでも元気で生きがいのもてるまち							
		(1) 元気・健康で生涯スポーツの盛んなまちをつくります					
		① 生活習慣病予防と健康寿命の延伸	2	2	2		
		② 生涯スポーツの振興					1
4. 助け合い、支え合い、安心して暮らせるまち							
		(1) ふれあいのあるやさしい福祉社会と医療体制をつくります					
		① 高齢者や障がい者への福祉サービスの充実		6			
		② 医療の充実					1
		③ 社会保障制度の充実	2	1			
		(2) 市民の生命と財産を守ります					
		① 防災対策の推進	5				
		③ 放射線対策の推進	2	3	1		
		(3) 自然と共生し環境に配慮したまちをつくります					
		① 水の安定供給	5				1
		② 生活排水処理による水環境の保全	4				1
		③ 自然と森林環境の保全	2				
		④ 資源の循環利用と環境負荷の低減	1				
1. 自立できる自治体経営の推進							
		(2) 効率的な行財政の運営を推進します					
		① 効率的・効果的な行政運営		1			
		② 健全な財政運営の推進	1				
			54	43	7	0	11



<事業別評価結果>

基本目標 (政策の柱)	政策	施策	取組事項	推進する事務事業名	所管課 評価	進捗 状況	費用対 効果	事業の 方向性
1. 若者の未来を創るまち								
(1) 子どもを産み育てやすいまちをつくります								
①妊娠、出産、母子の健康づくりの支援								
	I. 妊娠から出産までの支援		妊婦健康診査	A	目標達成	費用に対して十分な効果があった	現状のまま継続	
			特定不妊治療費助成事業	B	相当程度進展あり	費用に対して効果はあったが課題もあった	現状のまま継続	
			出産時交通費補助事業	B	進展が大きい	費用に対して十分な効果があった	現状のまま継続	
			産後ケア事業	B	進展が大きい	費用に対して効果はあったが課題もあった	拡大	
	II. 母子の健康づくり、健康相談		乳幼児健診・相談事業	B	評価結果なし	-	見直して継続	
			乳幼児健診・相談事業(こんにちは赤ちゃん事業)	A	相当程度進展あり	費用に対して十分な効果があった	現状のまま継続	
②子育て家庭の負担軽減								
	II. 子育て家庭の経済的負担の軽減		予防接種事業(乳幼児・学童)	A	相当程度進展あり	費用に対して十分な効果があった	現状のまま継続	
			子ども医療費助成事業	B	相当程度進展あり	費用に対して十分な効果があった	現状のまま継続	
			出産祝金支給事業	B	進展が大きい	費用に対して十分な効果があった	現状のまま継続	
			私立幼稚園教育振興補助事業	B	相当程度進展あり	費用に対して効果はあったが課題もあった	現状のまま継続	
③働きながら子育てできる環境の整備								
	I. 子育て施設の整備		待機児童解消対策事業	B	相当程度進展あり	費用に対して十分な効果があった	現状のまま継続	
			公立幼稚園の統廃合	C	進展が大きい	費用なし	見直して継続	
	II. 多様な保育サービスの提供		一時預かり保育事業(一時預かり事業(幼稚園型))	B	相当程度進展あり	費用に対して十分な効果があった	現状のまま継続	
			学童保育の充実(学童保育事業)	B	目標達成	費用に対して十分な効果があった	拡大	
(3) 若者の定住を促進します								
①若者の生活基盤の確保								
	I. 若者への生活支援		新婚世帯家賃助成金事業	A	相当程度進展あり	費用に対して効果はあったが課題もあった	現状のまま継続	
			三世帯同居住居改修助成金事業	A	相当程度進展あり	費用に対して効果はあったが課題もあった	現状のまま継続	
	II. 若者への定住支援		定住促進奨励金事業	A	相当程度進展あり	費用に対して効果はあったが課題もあった	現状のまま継続	
			就労支援事業	A	目標達成	費用に対して十分な効果があった	現状のまま継続	

基本目標 (政策の柱)	政策	施策	取組事項	推進する事務事業名	所管課 評価	進捗 状況	費用対 効果	事業の 方向性
		②多様な就業の場の確保と若者のチャレンジ						
			I. 企業誘致の促進	工業団地造成事業	B	進展が 大きくない	費用に対し て十分な効果 が得られ なかった	現状のまま 継続
			Ⅲ. 若者の夢チャレンジ支援	U・I・Jターン支援事業	A	相当程度 進展あり	費用に対し て十分な効果 があった	見直して 継続
				新規創業支援事業（創業支援事業）	A	目標達成	費用に対し て十分な効果 があった	拡大
		(4) 居住環境を整備し暮らしやすいまちをつくりまします						
		①良好な市街地の形成						
		I. 計画的な都市づくりの推進		住みよさランキング向上事業	-	相当程度 進展あり	費用なし	現状のまま 継続
				都市計画マスタープラン策定事業	B	進展が 大きくない	費用に対し て効果は あったが課題 もあった	見直して 継続
		II. 拠点機能整備と宅地開発の誘導		杉田駅周辺整備事業	B	相当程度 進展あり	費用に対し て十分な効果 があった	現状のまま 継続
				安達支所東地区整備事業	B	相当程度 進展あり	費用に対し て十分な効果 があった	現状のまま 継続
		III. 市営住宅の整備		市営住宅耐久性向上事業	A	目標達成	費用に対し て十分な効果 があった	見直して 継続
				中心市街地老朽住宅団地統合建替事業	-	評価結果 なし	費用なし	見直して 継続
				市営住宅建替事業（茶園団地）	A	目標達成	費用に対し て十分な効果 があった	完了
		②道路ネットワークの整備						
		II. 幹線・生活道路の整備		主要幹線道路整備事業（社会資本整備総合交付金及び合併特例債）	A	相当程度 進展あり	費用に対し て十分な効果 があった	現状のまま 継続
				幹線道路整備事業（合併特例債対象路線）	A	相当程度 進展あり	費用に対し て十分な効果 があった	現状のまま 継続
				生活幹線道路整備事業（過疎対策債対象路線）	A	相当程度 進展あり	費用に対し て十分な効果 があった	現状のまま 継続
				一般市道整備事業（単独事業）	A	相当程度 進展あり	費用に対し て十分な効果 があった	拡大
		III. 道路環境の整備と長寿命化の促進		道路環境整備事業	A	相当程度 進展あり	費用に対し て十分な効果 があった	現状のまま 継続
				道路照明新設事業	A	相当程度 進展あり	費用に対し て十分な効果 があった	見直して 継続
				側溝改修事業	A	目標達成	費用に対し て十分な効果 があった	拡大
				道路補修事業	A	目標達成	費用に対し て十分な効果 があった	現状のまま 継続
				道路橋長寿命化修繕事業	A	相当程度 進展あり	費用に対し て十分な効果 があった	拡大
		IV. 公共交通の充実		生活バス路線維持対策事業（公共交通確保対策事業）	C	進展が 大きくない	費用に対し て効果は あったが課題 もあった	見直して 継続

基本目標 (政策の柱)	政策	施策	取組事項	推進する事務事業名	所管課 評価	進捗 状況	費用対 効果	事業の 方向性
2. 郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち								
(1) 歴史と文化を活かし交流人口を増やします								
①おもてなし観光の推進								
I. 観光客受け入れ環境の充実			観光立市推進事業	A	目標達成	費用に対して十分な効果があった	現状のまま継続	
			インバウンド誘客促進事業	B	目標達成	費用に対して十分な効果があった	現状のまま継続	
			安達ヶ原ふるさと村運営事業	A	目標達成	費用に対して十分な効果があった	現状のまま継続	
			ルカ化 ^ア あだたら運営事業	A	目標達成	費用に対して十分な効果があった	現状のまま継続	
			DMO推進事業	B	目標達成	費用に対して十分な効果があった	現状のまま継続	
II. 旬な情報発信の推進			イメージアップキャンペーン・フィルムコミッション(二本松少年隊運営・ざくざく普及)	B	目標達成	費用に対して効果はあったが課題もあった	現状のまま継続	
②観光資源の発掘活用、整備								
I. 観光拠点づくり			温泉地観光施設整備事業(旧アークホテル)	C	目標達成	費用に対して十分な効果があった	見直して継続	
			道の駅「安達」管理運営事業	-	評価結果なし	費用に対して効果はあったが課題もあった	見直して継続	
			道の駅「さくらの郷」管理運営事業	B	相当程度進展あり	費用に対して十分な効果があった	現状のまま継続	
II. 観光資源の活用			菊のまち二本松推進事業	B	進展が大きい	費用に対して効果はあったが課題もあった	現状のまま継続	
(2) 商工業の振興で賑わいのあるまちをつくりまします								
①中心市街地と地域商業の活性化								
I. 中心市街地の活性化			中心市街地活性化事業	-	評価結果なし	費用に対して十分な効果が得られなかった	現状のまま継続	
			中心市街地活性化実践事業	C	相当程度進展あり	費用に対して効果はあったが課題もあった	見直して継続	
II. 商業まちづくり活動の活性化			魅力ある店舗づくり支援	B	相当程度進展あり	費用に対して効果はあったが課題もあった	見直して継続	
			賑わいづくり支援事業	B	目標達成	費用に対して効果はあったが課題もあった	現状のまま継続	
②地域産業と物産の振興								
I. 二本松の”匠”物産振興			物産振興事業	B	相当程度進展あり	費用に対して十分な効果があった	見直して継続	
(3) 個性あふれる地域農業を形成します								
①農業担い手の育成と生産基盤の整備								
I. 多様な担い手の育成			地域担い手育成総合支援事業	B	進展が大きい	費用に対して効果はあったが課題もあった	現状のまま継続	

基本目標 (政策の柱)	政策	施策	取組事項	推進する事務事業名	所管課 評価	進捗 状況	費用対 効果	事業の 方向性			
			Ⅱ. 農業用施設の整備	団体営農道整備事業(永田原七地区)	A	相当程度 進展あり	費用に対して 十分な効果 があった	見直して 継続			
				油井堀用水路整備事業	-	相当程度 進展あり	-	現状のまま 継続			
			Ⅲ. 環境に配慮した農 林業の推進	多面的機能支払事業	B	進展が 大きくない	費用に対し て効果は あったが課 題もあった	見直して 継続			
				中山間地域等直接支払 制度事業	B	進展が 大きくない	費用に対し て十分な効 果があった	見直して 継続			
				有害鳥獣捕獲活動事業	A	相当程度 進展あり	費用に対し て十分な効 果があった	現状のまま 継続			
			Ⅳ. 安全安心な農産物 の生産	原発事故対策事業	B	目標達成	費用に対し て効果は あったが課 題もあった	見直して 継続			
			②ブランド化の推進と販路拡大								
				Ⅰ. 特産品ブランド化 の推進	畜産振興事業	B	相当程度 進展あり	費用に対し て効果は あったが課 題もあった	現状のまま 継続		
			(4) 特性を活かした地域づくりを進めます								
			①個性あふれる地域づくりの推進								
				Ⅰ. 地域活動の支援	市民との協働による地 域づくり支援事業	B	進展が 大きくない	費用に対し て効果は あったが課 題もあった	見直して 継続		
					地域おこし協力隊及び 集落支援員事業	A	相当程度 進展あり	費用に対し て十分な効 果があった	拡大		
					地方創生推進事業	A	相当程度 進展あり	費用に対し て十分な効 果があった	現状のまま 継続		
					地域づくり推進事業	A	進展が 大きくない	費用に対し て十分な効 果があった	見直して 継続		
					廃校の解体と跡地の活用 (廃校舎等利活用事業)	B	相当程度 進展あり	費用に対し て十分な効 果があった	現状のまま 継続		
				Ⅲ. 国際交流・地域間 交流の推進	国際友好都市交流事業	B	相当程度 進展あり	費用に対し て十分な効 果があった	見直して 継続		
		②地域自治活動の推進									
		Ⅰ. 自治活動の支援	市民との協働による自 治推進事業	A	目標達成	費用に対し て十分な効 果があった	現状のまま 継続				
			Ⅱ. 自治基盤の整備	地域集会施設整備事業	-	評価結果 なし	費用なし	見直して 継続			
		地域集会施設大規模改 修事業		-	評価結果 なし	費用なし	見直して 継続				
			洋式トイレの温水洗浄 便座化	A	目標達成	費用に対し て十分な効 果があった	現状のまま 継続				

基本目標 (政策の柱)	政策	施策	取組事項	推進する事務事業名	所管課 評価	進捗 状況	費用対 効果	事業の 方向性
3. いつまでも元気で生きがいのもてるまち								
(1) 元気・健康で生涯スポーツの盛んなまちをつくります								
①生活習慣病予防と健康寿命の延伸								
II. 保健事業の充実		生活習慣病予防事業(各種検診・健康教育・健康相談)		C	進展が 大きくない	費用に対して効果はあったが課題もあった	見直して 継続	
		人間ドック検診事業		C	相当程度 進展あり	費用に対して効果はあったが課題もあった	現状のまま 継続	
		予防接種事業(高齢者)		B	相当程度 進展あり	費用に対して十分な効果があった	現状のまま 継続	
		予防接種事業(任意)		A	相当程度 進展あり	費用に対して十分な効果があった	現状のまま 継続	
		保健センター修繕事業		A	目標達成	費用に対して十分な効果があった	現状のまま 継続	
		国保特定健診事業		B	進展が 大きくない	費用に対して効果はあったが課題もあった	現状のまま 継続	
②生涯スポーツの振興								
I. 運動・体力づくりの環境整備		日山パルクゴルフ場拡張事業		-	目標に向 かってない	費用なし	見直して 継続	
4. 助け合い、支え合い、安心して暮らせるまち								
(1) ふれあいのあるやさしい福祉社会と医療体制をつくります								
①高齢者や障がい者への福祉サービスの充実								
I. 地域福祉の推進		社会福祉協議会活動推進事業		B	目標達成	費用に対して効果はあったが課題もあった	現状のまま 継続	
II. 高齢者福祉サービスの充実		生きがい活動支援通所事業		B	目標達成	費用に対して効果はあったが課題もあった	現状のまま 継続	
		高齢者等生活支援事業		B	相当程度 進展あり	費用に対して効果はあったが課題もあった	現状のまま 継続	
		温泉等利用健康増進事業		B	進展が 大きくない	費用に対して効果はあったが課題もあった	現状のまま 継続	
III. 介護サービスの充実		地域包括支援センターの配置拡充(地域包括支援センター運営事業)		B	相当程度 進展あり	費用に対して効果はあったが課題もあった	見直して 継続	
IV. 障がい者支援の充実		重度心身障害者医療費給付事業		B	相当程度 進展あり	費用に対して十分な効果があった	現状のまま 継続	
②医療の充実								
I. 医療体制の充実		地域医療機関との連携及び医師確保対策		-	進展が 大きくない	費用なし	現状のまま 継続	
③社会保障制度の充実								
II. 国民健康保険の健全な運営		国保特別会計繰出事業		A	目標達成	費用に対して十分な効果があった	現状のまま 継続	
		国保運営の円滑な県移行(国民健康保険財政運営の県移行に伴う制度変更に係る)事業		A	目標達成	費用に対して十分な効果があった	現状のまま 継続	
III. 後期高齢者医療制度の健全な運営		県後期高齢者医療広域連合との連携(後期高齢者医療制度)		B	相当程度 進展あり	費用に対して十分な効果があった	現状のまま 継続	

基本目標 (政策の柱)	政策	施策	取組事項	推進する事務事業名	所管課 評価	進捗 状況	費用対 効果	事業の 方向性
			(2) 市民の生命と財産を守ります					
			①防災対策の推進					
		I. 防災対策の強化	防災設備整備事業(防災行政無線デジタル化、防災情報伝達システムの構築)	A	目標達成	費用に対して十分な効果があった	現状のまま継続	
			防災設備整備事業(排水ポンプ)	A	目標達成	費用に対して十分な効果があった	現状のまま継続	
		II. 消防体制・施設の強化	消防施設等整備事業(屯所)	A	相当程度進展あり	費用に対して十分な効果があった	現状のまま継続	
			消防施設等整備事業(ポンプ車)	A	目標達成	費用に対して十分な効果があった	現状のまま継続	
			消防施設等整備事業(消防水利施設)	A	目標達成	費用に対して十分な効果があった	現状のまま継続	
			③放射線対策の推進					
		I. 環境放射線量の低減	放射能除染事業	B	目標達成	費用に対して十分な効果があった	現状のまま継続	
			屋内遊び場運営事業	A	目標達成	費用に対して十分な効果があった	現状のまま継続	
		II. 放射線量測定体制の整備	空間放射線量率メッシュ調査	B	評価結果なし	費用に対して十分な効果があった	現状のまま継続	
			農産物等放射能測定事業	B	評価結果なし	費用に対して十分な効果があった	見直して継続	
			放射線対策(健康管理)事業	C	進展が大きい	費用に対して十分な効果が得られなかった	見直して継続	
			保育所給食食材放射能測定事業	A	目標達成	費用に対して十分な効果があった	現状のまま継続	
			(3) 自然と共生し環境に配慮したまちをつくります					
			①水の安定供給					
		I. 水道施設の整備と上質な水の提供	二本松地区上水道第六次拡張事業	A	目標達成	費用に対して十分な効果があった	現状のまま継続	
			安達地区上水道第六次拡張事業(上川崎地区)	A	目標達成	費用に対して十分な効果があった	現状のまま継続	
			東和簡易水道未普及地域解消事業	A	目標達成	費用に対して十分な効果があった	現状のまま継続	
			二本松地域施設改良事業	A	目標達成	費用に対して十分な効果があった	現状のまま継続	
			安達地域施設改良事業	A	目標達成	費用に対して十分な効果があった	現状のまま継続	
		II. 水道事業の健全な運営	(二本松市)水道料金改定	-	評価結果なし	費用なし	現状のまま継続	
			②生活排水処理による水環境の保全					
		I. 下水道の整備と接続促進	下水道接続促進事業	-	評価結果なし	費用なし	現状のまま継続	
			流域関連公共下水道事業(二本松処理区)	A	進展が大きい	費用に対して十分な効果があった	現状のまま継続	
			流域関連公共下水道事業(安達処理区)	A	進展が大きい	費用に対して十分な効果があった	現状のまま継続	
			特定環境保全公共下水道事業(岩代処理区)	A	進展が大きい	費用に対して十分な効果があった	現状のまま継続	
		II. 浄化槽設置の推進	浄化槽設置事業	A	相当程度進展あり	費用に対して十分な効果があった	現状のまま継続	

基本目標 (政策の柱)	政策	施策	取組事項	推進する事務事業名	所管課 評価	進捗 状況	費用対 効果	事業の 方向性
		③自然と森林環境の保全						
		I. 豊かな森林づくり の推進		森林環境交付金事業	A	評価結果 なし	費用に対し て十分な効 果があった	現状のまま 継続
				ふくしま森林再生事業	A	評価結果 なし	費用に対し て十分な効 果があった	現状のまま 継続
		④資源の循環利用と環境負荷の低減						
		I. 再生可能エネル ギー導入促進		再生可能エネルギー導 入促進事業	A	相当程度 進展あり	費用に対し て十分な効 果があった	現状のまま 継続
自立できる自治体経営の推進								
(2) 効率的な行財政の運営を推進します								
①効率的・効果的な行政運営								
		III. 行政の簡素化・効 率化の推進		ネットワーク機器更新	B	目標達成	費用に対し て十分な効 果があった	現状のまま 継続
②健全な財政運営の推進								
		I. 財源の安定確保		固定資産評価基礎資料 整備業務	A	目標達成	費用に対し て十分な効 果があった	現状のまま 継続

【「改善の必要あり」とした事業の今後の方向性】

7件の事務事業の所管課評価に対する説明及び今後の方向性は下記のとおりです。

事務事業名	説明	方向性
公立幼稚園の統廃合	教育委員会との協議や有識者、地域住民の意見も聞く機会を持つ必要があることから、慎重に今後の幼稚園の在り方を検討していく必要がある。	教育委員会と合同で統廃合の検討や有識者の意見等も交えながら方向性を検討していく。
生活バス路線維持対策事業	利用者の減少により財政支出が増加している。	公共交通の果たす役割は大きいことから、多くの市民に利用していただけるよう常に改善を図っていく。
温泉地観光施設整備事業	平成30年6月に住民懇談会を実施し整備内容の見直しを行った。	整備内容を見直し、イベント広場、駐車場、トイレの整備を進める。
中心市街地活性化実践事業	イルミネーション事業が中心であり、継続して集客が図れる新たな取り組みが必要。	イベント実施主体に対し、企画案の再考を促す。
生活習慣病予防事業	事業所検診等を受診していることが多く、実際の対象者把握が困難であり、受診率向上が難しい。	受診率が向上で早期発見・早期治療が見込まれることから、周知方法や受診券の方法等について検討する。
人間ドック検診事業	徐々に受診率は向上しているが、目標値に至っていない。	周知方法等を検討し、認知度を上げる。
放射線対策事業	平成23年11月以降、市民の約6割が一度も受診していない。市民の関心度も年々低くなり、平成29年度の受診者は1割に満たなかった。	低線量被ばくの影響がどの程度か、不明な点が多く、市民の安全と健康を守るためには「測定する」ことの継続が必要である。通知のほか、種々の保健事業等を通して受診勧奨を強化する。

【まとめ】

第1回目の行政評価を実施し、全体の約84.3%を「A：順調」及び「B：概ね順調」の評価結果であり、評価を実施した事務事業が属する全ての施策が順調に進んでいることが分かります。

一方で、全体のうち7件、約6.1%は「C：改善の必要あり」との評価結果であり、事業の反省を踏まえ、今後の方向性を検討し、充実した施策となるよう進めて行くことが必要です。

また、一部の事務事業で、評価結果が得られないものもありましたが、事業の進捗等により、現段階での評価が困難な事業であり、次回評価にて評価の実施を検討します。

行政評価は、これまでも一部の事務事業を対象に実施してきましたが、今回は、事業目標を可視化し、客観的な評価が可能となるよう、原則、指標を設けることで実施しました。

事業の実施に伴い、地域又は市民がどのような状態になることを目指すのかを明確に捉え実施することで、市民サービスの向上に寄与すると考えられることから、意図の指標化は大変重要であると考えられます。

行政評価により、自らが実施した事務事業を振り返り、反省・評価を行い、次の施策に反映させることにより、事務事業のPDCAサイクルが構築され、新二本松市市政改革推進行動計画の重点項目である、「限られた経営資源の効率的・効果的な活用」を推進することができるものと考えられます。